

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 地域計画連合

②事業者情報

名称：	あさか向陽園	種別：	施設入所支援
代表者氏名：	篠本 晃広	定員(利用人数)：	40 名
所在地：	〒 351-0016 埼玉県朝霞市青葉台1-10-60	TEL	048-466-1411

③評価実施期間

令和 6 年 4 月 1 日(契約日)～令和 7 年 3 月 5 日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

○開設以来の自由な雰囲気や漂う施設風土を継承し「施設入所だからできない」といった考えは利用者にも職員にも全くなく「いかにしたらできるか」を丁寧に話し合い、やれる方向での支援を継続している

・利用者支援において、職員は、自己決定と個人の尊重、平等な立場での支援が具体的な支援場面において、どのように捉えて実践すればいいか常に考えており、会議等で学べる環境を整えている。これにより、かけがえのない人として利用者を見ていく視点や姿勢を身に付けている。一日の過ごし方等は利用者の楽しみや喜びの時間を最大限尊重し、望む姿を個別支援計画に盛り込んで実践し、その中で、様々な選択肢があることを知ってもらい未来を想像できるように情報を提供している。社会資源を活用しながら、地域での活動の幅を広げていけるような支援を心掛け、利用者は自らの嗜好に応じて外食や買い物に自由に出かけ、地域の多様な人々との交流を図って、日常とは違う体験から活動の幅を広げている。単独で積極的に出かけており外出行事の他にスポーツ大会への参加で競う楽しさも味わい、物品販売会、地域祭りなどにも参加している。

○利用者の充実した日常生活の構築に向け、日中の活動は今までの作業中心から健康の維持向上に対応する支援に重点を移している

・高齢化や虚弱化による身体機能の低下に対応し、整形外科の嘱託医の協力を得て機能訓練プログラムを作成し、可能な限り機能低下を緩やかにし、出来ることは自分で行える利用者の姿を保つことを目指している。アイデア豊富な栄養士と調理担当者は労を惜しまない数々の取り組みで食から利用者の健康を支えている。日中活動においては本人の好きな活動を増やすために個別や小集団など、様々な内容の活動を提供し、集団の中でも個々のペースに合わせた支援を実践している。一方で様々な作業種を用意し、多めの報酬を望む年齢層の若い利用者の希望にも添えるように配慮している。利用者に応じて声掛けにも工夫を加え、個々のストレングスに着目した支援を意識し、出来る限り充実したものになるように配慮している。

○発信を契機とした他業種との連携で、Esports体験、美容体験、地元芸能事務所とコラボしたイベントなどで、利用者の生活の幅が大きく広がっている

・支援向上委員会の活動の一貫で、Instagramを活用した情報発信に取り組み、原稿を作成し週2回の更新を続けている。近年、利用者の状態象の変化や、作業環境の変化を踏まえて充実を図っている新しい日中活動の発信機会ともなっている。施設行事にとどまらず、職員の紹介や施設や地域の取り組みも紹介することで、福祉関係者にとどまらない様々な人たちのアクセスにつながっている。動画やストーリーズにも挑戦して、生き生きとした日常を伝えている。元は職員採用が念頭にあったが、発信を契機とした他業種との連携で、Esports体験、美容体験、地元芸能事務所とコラボしたイベントなどで、利用者の生活の幅が大きく広がり、フォロワー数は2,000人に達するなど世界を広げている。

◇特にコメントを要する点

○当施設の歴史がもたらした特性として、「利用者の自由な暮らし」を組織的に守り続ける仕組みの検討や成果の共有を期待したい

・当施設には、もともと身体障害をもつ利用者が多く、そのために障害者の権利への自覚や希求がはっきりしていた。こうした中で、利用者自身が施設と協議を重ねてきた結果、施設でありながら、大らかで自由な利用者の生活が保たれている。個々の状況によりできる範囲は異なるが、自転車で駅に買い物に出かけたり、買ってきた食材で食べたい食事をキッチンで作ることもできる。また、ポッチャに情熱を傾け、遠く企業チームまで練習に出かけて鍛錬する利用者も存在する。こうしたその人らしい生活が維持される仕組みを明らかにし、一つの成果として他所とも共有し、一人でも多くの利用者に広めていくことが期待される。

○支援活動に関する取り組みの考えをベースに、独自の中長期計画を検討されたい

利用者の特性に合わせ、個々の自由度が活かされ、独特な支援活動が展開されており、利用者の権利や意向等を尊重した取り組みが行われている。また、利用者の健康的な生活を大切にした支援が中心となっており、それらを踏まえた障害者支援が主体となっている。法人の中長期計画の方向性を踏まえ、施設独自の支援への取り組みを考慮した中長期計画の策定を検討されたい。職員や利用者からは建物本体の老朽化を指摘する意見や空調設備をはじめとする改修・改善を要望する声も多く窺え、営繕計画構想に沿った将来に向けての建て替え・改修計画をも盛り込んだ方向性を示す道しるべきなもの検討等を期待したい。

○施設の特性を的確に表現する言葉をもとに、目指す方向性を取りまとめ明文化されたい

利用者の特性に合わせた様々な支援活動を展開しており、利用者の意見・意向に重きを置いた考え方や取り組みが進められている。また、これまでの仕事中心の施設支援活動から生活の場という転換が図られており、施設独自のコンセプトを表現するキャッチフレーズ的な言葉を職員や利用者からの意見を参考に検討されたい。法人の他施設との違いや目指す方向性を明確にして支援への考えを確立することで、職員の働きがいややる気のさらなる向上、利用者の施設への想いの孤高感をさらに高めることにつながると考える。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

この度は、審査していただきありがとうございました。
施設の運営や利用者支援、その他様々な取組について改めて確認する機会となりました。
また、良い点をご評価いただくとともに、さらに良くなる点についても一緒に考えていただけるスタンスを感じ、安心して受審することができました。
改善の余地がある部分については、特にコメントを要する点も参考にしながら、さらなる改善に取り組むたいと思います。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり